



from HIGASHIYAMA 東山

住民とともに交通安全を訴える東関部屋の力士たち

「おすもうさん」が身近に

恒例の東関部屋東山合宿

元関脇高見山の東関親方が率いる大相撲東関部屋の東山合宿は8月3日から12日まで、松川公民館で行われました。今年で19年目を迎えた合宿は、東山町の夏の風物詩として定着。親方をはじめ、力士やマネージャーら14人が参加しました。

連日行われたけいこには、親子連れなど多くの見学者が訪れ、激しくぶつかり合う力士の迫力に驚きを隠せない様子でした。力士たちはけいこの合い間に、交通安全パレードやチャリティーちゃんこ鍋料理教室、老人ホームへの慰問など、さまざまな行事に参加し、地域住民との交流を深めていました。



from ICHINOSEKI 一関



上 友達同士で味わいもさまざまな地ビールの飲み比べを楽しむ女性グループ
左 地ビール販売コーナーには次々と愛好家が訪れました

目指すは全銘柄制覇！

全国地ビールフェスティバル

10回目を迎えた「全国地ビールフェスティバルin一関」が8月17日から3日間、一関文化センター前広場で催されました。

今回のフェスティバルには、全国46都道府県から、62銘柄の地ビール業者が参加。訪れた人たちは、焼き鳥やおでん、枝豆、フランクフルト、漬物など、種類も豊富に出店されたおつまみに舌鼓を打ちながら、いろいろな銘柄の飲み比べに挑戦したり、お目当ての銘柄を2杯3杯とおかわりしたりと、それぞれの楽しみ方で各社自慢の地ビールにのどを鳴らしました。このフェスティバルのために東京からバスツアーが企画されたり、遠く北海道や九州から訪れる人もいるなど、地ビールの祭典としてすっかり全国区となったこのフェスティバル。期間中合わせて約4350杯(大ジョッキ換算で約6200杯)の地ビールが訪れた人たちの胃袋に飲み込まれました。

東京や宮城、福島などから友達同士で訪れたという女性グループは「みんなで分け合いながら12種類のビールを飲みました。地ビールはそれぞれの味に個性があって面白いですね。今日はみんなで62種類全部を味わって帰りたい」と、にぎやかにコップを傾けていました。

また、フェスティバル10周年を記念して、8月10日から18日までは、市内13の飲食店で地ビールと旬の地元食材を使った料理を提供する「いちのせき地ビールストリート」も行われ、好評を博しました。

都会っ子がふるさと満喫

PALPAL 交流サマーキャンプ

23年目を迎えたパルパル交流事業の「夏パル交流サマーキャンプ」は7月22日から28日まで、黄金山キャンプ場などで行われました。夏の恒例となったこの事業に、世田谷区などから小学生ら36人が来町。地元の小学生54人や中高生のジュニアリーダークラブ「ポランベ」も参加し、交流を深めました。

5年連続参加している岡田将希君(目黒区駒沢小5年)は、「お兄ちゃんと参加したことがきっかけで毎年来ている。クワガタ捕りと水遊びが楽しかった。来年もまた来たい」と都会では味わうことのできない体験に目を輝かせていました。



from SENMAYA 千厩

ぼっちゃん池で水遊びを楽しむ子どもたち



from DAITO 大東

つきたてのおもちはネバネバして温かでした

新しい発見、初めての体験

千葉日大一中自然体験学習

「千葉日本大学第一中学校自然体験学習」は8月3日から6日までの4日間、催されました。この交流は今年で13年目を迎え、農家での宿泊体験や自然体験を通じて相互の交流を深めているものです。

同中生徒56人が参加し、乗馬体験や室根山の散策の後、地域内の7集落の農家に分かれて宿泊。ジャガイモの収穫や草刈りなどの農作業をはじめ、縄ない作業や川遊びを体験しました。もちつき体験や収穫された新鮮な食材を使った料理も堪能し、都会では味わえない田舎暮らしを体験した生徒たちは、いきいきとした表情を見せていました。

もしもの災害に備えて

サバイバルキャンプ

避難所生活体験は7月27日、川崎体育センターで催され、両磐地域の少年消防クラブ員、自主防災組織員など約80人が参加しました。実際の避難所を想定して食事や休憩場所の確保、応急手当や避難方法などの防災知識や備えについて体験学習を行いました。

翌日は7班に分かれて周辺を散策し、防災状況や危険箇所などを把握。その後地図上に表記し防災対策を検討する「災害図上訓練(DIG)」を体験しました。参加した瀧澤秋平君(門崎小6年)は「疲れたけどDIGは楽しかった。災害がきたらなるべく冷静に対処したい」とキャンプの成果を語りました。



from KAWASAKI 川崎

地図を使って防災対策を検討する参加者



from MURONE 室根

マスコットを手渡し安全運転をお願いする園児

安全運転お願いします！

交通安全マスコット作戦

浜横沢児童館(千葉睦子館長・園児19人)による交通安全マスコット作戦は7月27日、児童館近くの国道284号で行われました。

内陸と沿岸を結ぶ主要道の同路線は、普段から交通量が多く、夏場は特に増加します。園児たちは手作りのかわいらしいマスコットを一つ一つドライバーや同乗者に手渡し、元気よく交通事故防止と安全運転をお願いしました。

室根地域ではほかの保育園や一部の小学校でもマスコット作戦を展開し、集中的に交通安全を啓発しています。

体験通し働く意義学ぶ

花泉中2年生職場体験学習

花泉中学校(岩淵健校長、生徒429人)の2年生161人は7月23日から27日まで、町内事業所、企業、店舗、施設など35カ所で職場体験学習を行いました。そのうち一関南消防署では5人の生徒が災害活動の講義、救命講習、ポンプ操法・消火訓練など、職員の指導の下、実際の勤務に近い内容を体験をしました。

市教育委員会は今年度、社会教育体験学習「14歳・地域に学ぶ5日間」を行っています。中学2年の生徒が長期にわたって地域の職場で学ぶことで、働くことの意義や目的を理解し、望ましい勤労観、コミュニケーション能力などの社会性を育てることを狙っています。



from HANAZUMI 花泉

本番さながらに消火訓練の指導を受ける生徒たち